

The 12th Annual Meeting of Japan Society for Developmental Neuroscience

日本発達神経科学会 第12回学術集会

2023

11.18日-19日

会場 九州大学医学部 百年講堂

大会長 諸隈 誠一

九州大学大学院 医学研究院 保健学部門

発生早期の脳発達を支える身体性の理解

共催：東京大学 大学院情報理工学系研究科 先端人工知能学教育寄付講座、九州大学医学部 婦人科学産科学教室
運営事務局：株式会社九州舞台 コンベンション推進課内 〒810-0004 福岡県福岡市中央区渡辺通 1-1-1 サンセルコビル 4 階
Email / jsdn2023@kyushustage.co.jp Tel / 092-718-0330

<https://jsdn.jp/meeting-information/12th-2023>



日本発達神経科学会第12回学術集会

11 /
18
(土)

特別講演1 「レム睡眠の役割とメカニズム」

講演：東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻 教授 林 悠

ポスターセッション1 (中ホール1・2)

シンポジウム1 「睡眠の発達と起源の探求」

オーガナイザー 乗本 裕明 北海道大学医学研究院 准教授

1. 「胎児と新生児の時計～睡眠リズムの獲得過程」
名古屋市立大学 新生児・小児医学分野 准教授 岩田 欧介
2. 「爬虫類のレム睡眠とノンレム睡眠」
北海道大学医学研究院 准教授 乗本 裕明
3. 「社会性昆虫から理解する睡眠表現型の多様化機構」
筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 助教・主任研究者 史 蕭逸
4. 「脳の起源と睡眠の起源の関係」
九州大学基幹教育院自然科学実験系部門 准教授 伊藤 太一

11 /
19
(日)

シンポジウム2 「神経回路発達における自発性活動の役割とその修飾機構」

オーガナイザー 荒田 晶子 兵庫医科大学 生理学・生体機能部門 准教授

1. 「自発性活動の周産期発達における役割について～ゼブラフィッシュからヒトまで～」
兵庫医科大学 生理学・生体機能部門 准教授 荒田 晶子
2. 「新生仔マウスの体性感覚野における神経回路精緻化と自発神経活動」
国立遺伝学研究所 教授 岩里 琢治
3. 「発達初期の神経系自発活動が持つ時空間ダイナミクス」
東京大学大学院情報理工学系研究科 特任助教 金沢 星慶
4. 「胎児・新生児・乳児の自発運動からみる神経学的発達」
東京都立大学大学院 人間健康科学研究科 准教授 儀間 裕貴

特別講演2 「エピジェネティック破綻による発達障害関連疾患発症のメカニズムとその改善法」

講演：九州大大学院医学研究院 基盤幹細胞学分野 教授 中島 欽一

ポスターセッション2 (中ホール1・2)

シンポジウム3 「腸内細菌と脳発達」

オーガナイザー 枡谷 史郎 鈴鹿医療科学大学保健衛生学部 教授

1. 「母体腸内細菌叢と子の神経発達」
鈴鹿医療科学大学保健衛生学部 教授 枡谷 史郎
2. 「発達期の腸内細菌がけいれん感受性に与える影響」
九州大学大学院医学研究院 応用幹細胞医学部門 応用幹細胞医学講座 基盤幹細胞学分野 甲斐 翔太郎
3. 「脳発達に影響を与える発生早期の因子」
神戸大学大学院医学研究科 教授 内匠 透
4. 「腸内細菌と精神活動：攻撃性に注目した発達の観点からの考察」
東海大学医学部医学科総合診療学系精神科学領域 教授 三上 克央